

# ズボンのヒモが ケンカしたための はなし

若井麻奈美



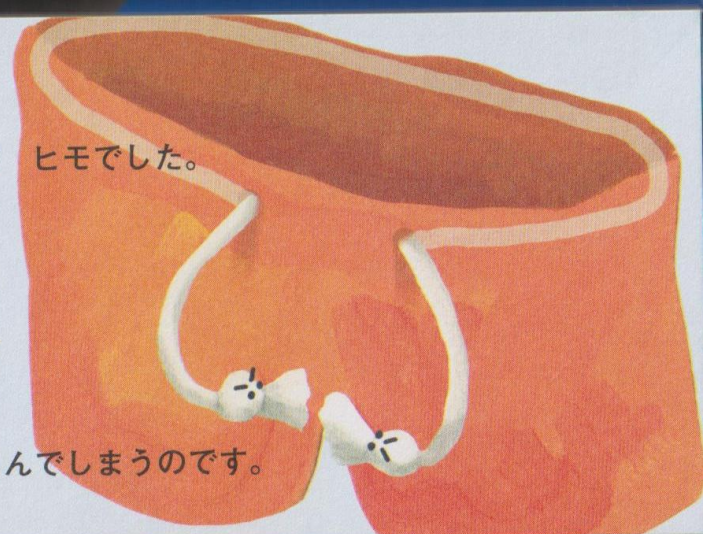
「ちょっと ひっぱらないでよ！」  
「ひっぱっているのは そっちでしょ！」



しずかな よる。  
どこからか いいあらそう こえが きこえてきます。

こえの しょうたいは  
ケイタくんの ズボンの ヒモでした。

ヒモは つながっていて  
かたほうが のびると  
もうかたほうは ひっこんでしまうのです。



ひっぱらないでよ！

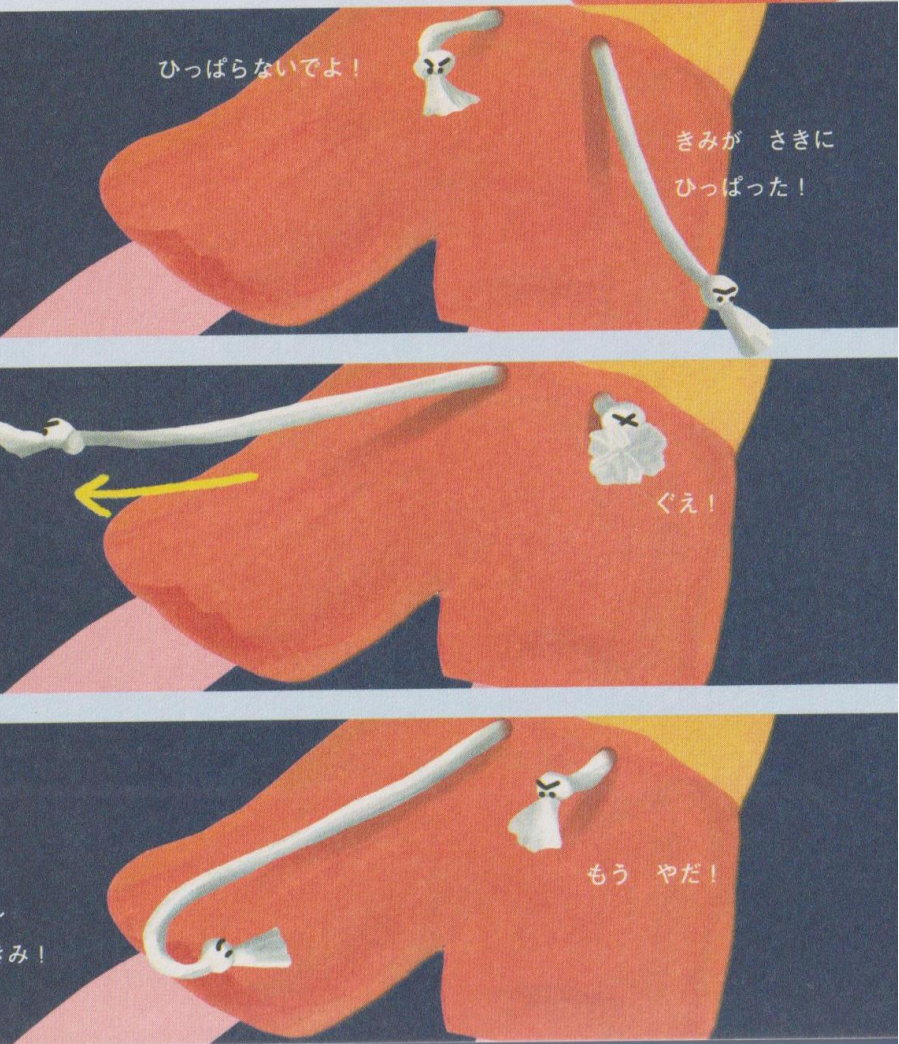
きみが さきに  
ひっぱった！

うりゃ！

ぐえ！

へーん  
いいきみ！

もう やだ！





つぎの あさ、  
ケイタくんの パジャマの ひだりのヒモが  
いなくなっていました。

みぎのヒモは  
「ケンカしてさ、あいつ おくに ひっこんでいっちゃった」  
と ちょっと かなしそう。

びよーんと のびた みぎのヒモが きになって  
ケイタくんも  
かいネコの ポンちゃんも  
あさごはんどころでは ありません。



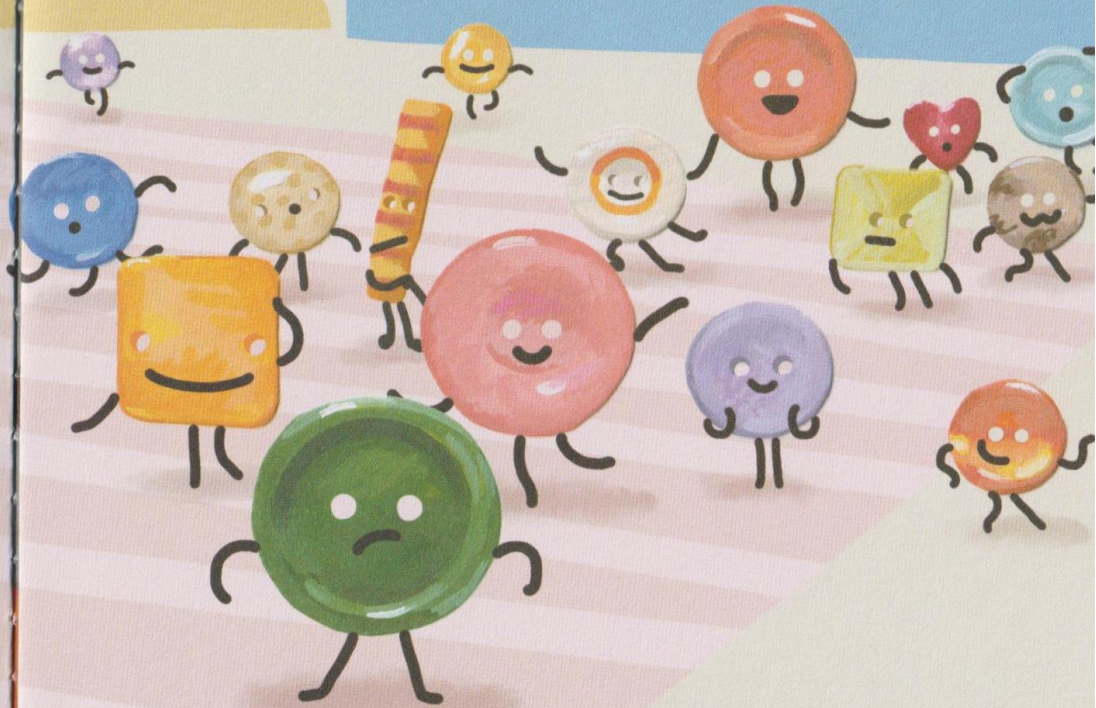
どうしたものかと かんがえていると  
ケイタクんの パジャマの ボタンが  
ばちばちばちっと はじけました。



「われわれに  
おまかせを！」

「なんだなんだ！ ぼくにも まかせて！」

「わたしにも！」



きづけば そこらじゅうの ボタンが あつまっていました。  
ボタンというのは たいてい こんなやつらなのです。

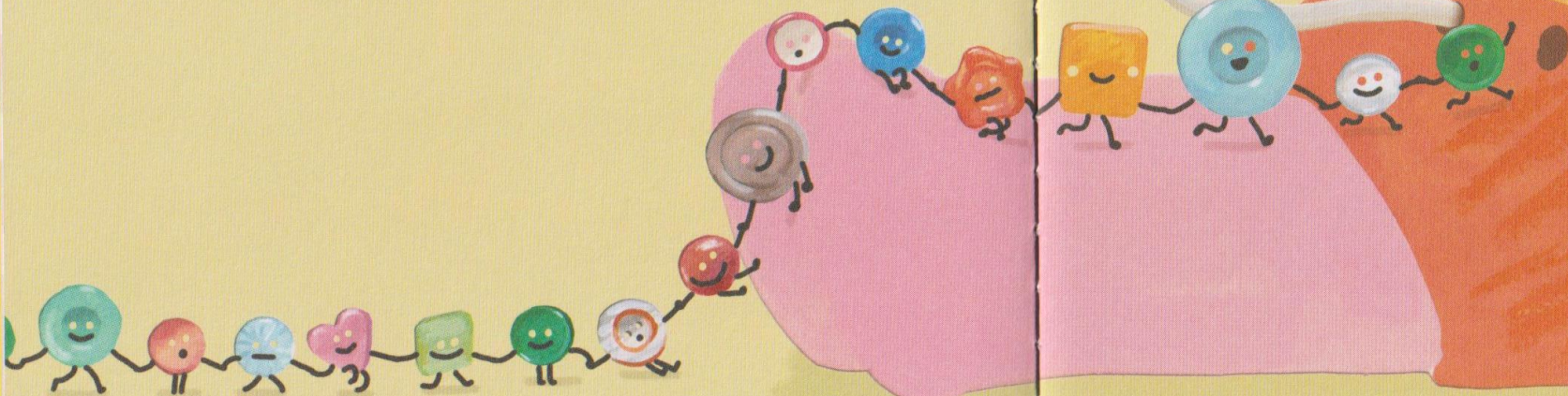
「これより ひだりのヒモくん よびもどし さくせんを  
かいしする！」

まいごに ならないように おててを つなげ！」

リーダーになった ボタンが そういうと  
ボタンたちは ピッと よこいちれつに ならび  
サッと てを つなぎました。

「ひだりのヒモを みつけたら もどってきなよって  
つたえてくれる？」

「りょうかい！」  
ボタンたちは やるきまんまんです。



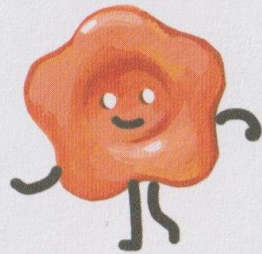
「しゅっぱーつ！」

ここで ボタンたちを ごしょうかいしましょう。



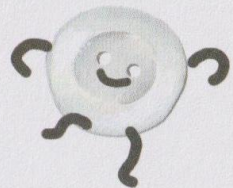
ケイタくんの パジャマの  
いちばん うえの ボタン。

なぜ かれが リーダーかという  
さいしょに はじけたかららしい。



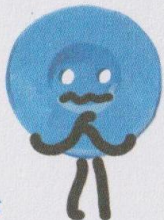
オレンジボタン。

ボタンたちの なかで  
じょうずに スキップが できるのは  
この オレンジボタンだけ。



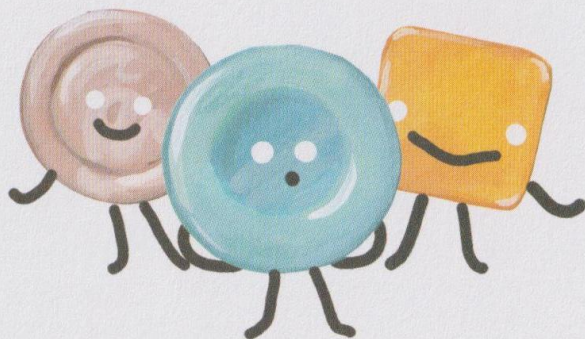
ようちえんの にゅうがくしきに  
きていた ふくの ボタン。

ひさしぶりに ケイタくんに あえて  
はりきっている。



ケイタくんが  
もっと ちいさかったときに  
きていた ふくの ボタン。

こわがり。  
おもったより まえのほうに きてしまって  
じつは すごく ドキドキしている。

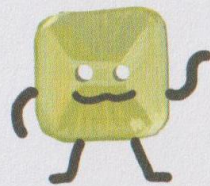


からだが おおきくて  
ズボンの あなを とおれなかったため  
おうえんがかりに なった ボタンたち。



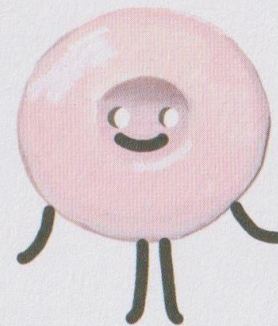
みちで  
ひろわれた ボタン。

どこか ミステリアスな  
そんざい。  
くちぐせは チョベリグ。



ケイタくんの うわぎの ボタン。

ねむるとき おおきな いびきを かくが  
ほんにんは きづいていない。



てさげカバンの ボタン。

おふとんかけずに ねむっている こを  
ほおっておけない やさしい ボタン。



たてながボタン。

じぶんを ボタンだと いいはっているが  
ほんとうの ところは わからない。



ケイタくんの ズボンの  
ボタン。

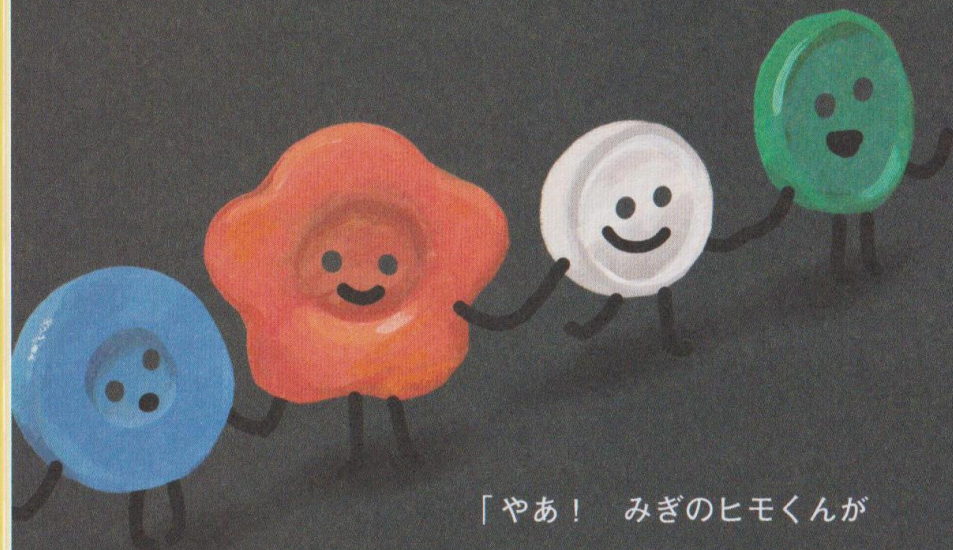
おおきくなったら  
うめぼしに になりたいらしい。



ボタンたちは ずんずんと  
まえへ まえへ。



やがて おくで ふてくされている  
ひだりのヒモを 見つめました。



「やあ！ みぎのヒモくんが  
もどってきたよって いていたよ」



それを きくと ひだりのヒモは おこって  
「きみたちには かんけいないだろ！  
ぼくは もどらないよ！ そう つたえて！」  
と いいました。

「りょうかい！」

ボタンたちは いっしょけんめい  
でんごんを まわしました。

ぼくはもどらないって

ぼくはもらさないって

ぼくはぼからさないって

ぼくはぼからさないって



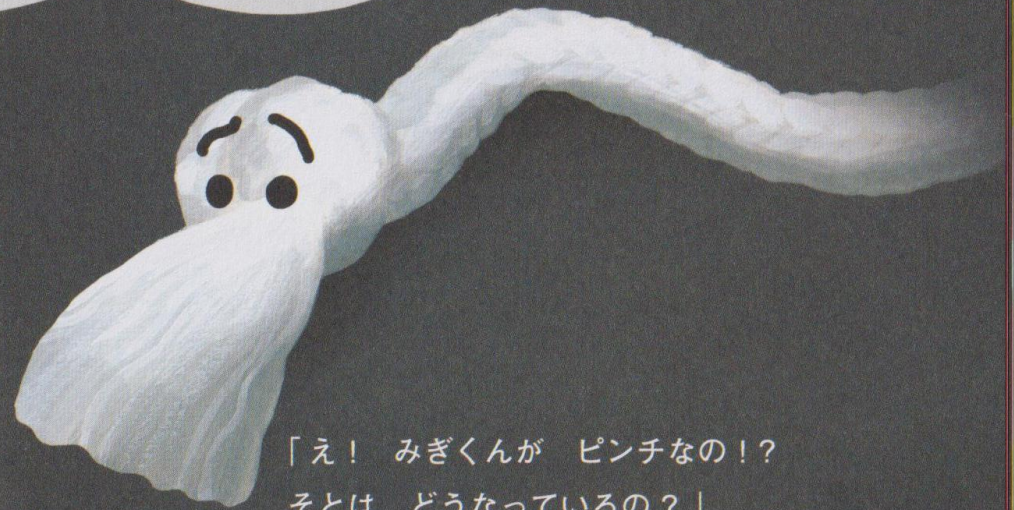
「ひだりのヒモさんから  
でんごんが とどきました！  
『ぼくは ぼくはつしないよ』  
だそうです！」

みぎのヒモは びっくりしました。

「ぼくはつって！ なにか あぶないものがあるの！？  
ピンクの ボタンくん！  
「そう つたえてみますね！」

ボタンたちは できるだけ はやく  
でんごんを とどけようと いそぐあまり……

「みぎのヒモくんからの でんごんだよ。  
『バイクと あぶない モモンガ ピンチなの』  
だって!」



「え! みぎくんが ピンチなの!?  
そとは どうなっているの?」

ひだりのヒモは そとの ようすが きになって  
おこっていた ことも わすれかけていました。

そのころ あなの いりぐちでは……

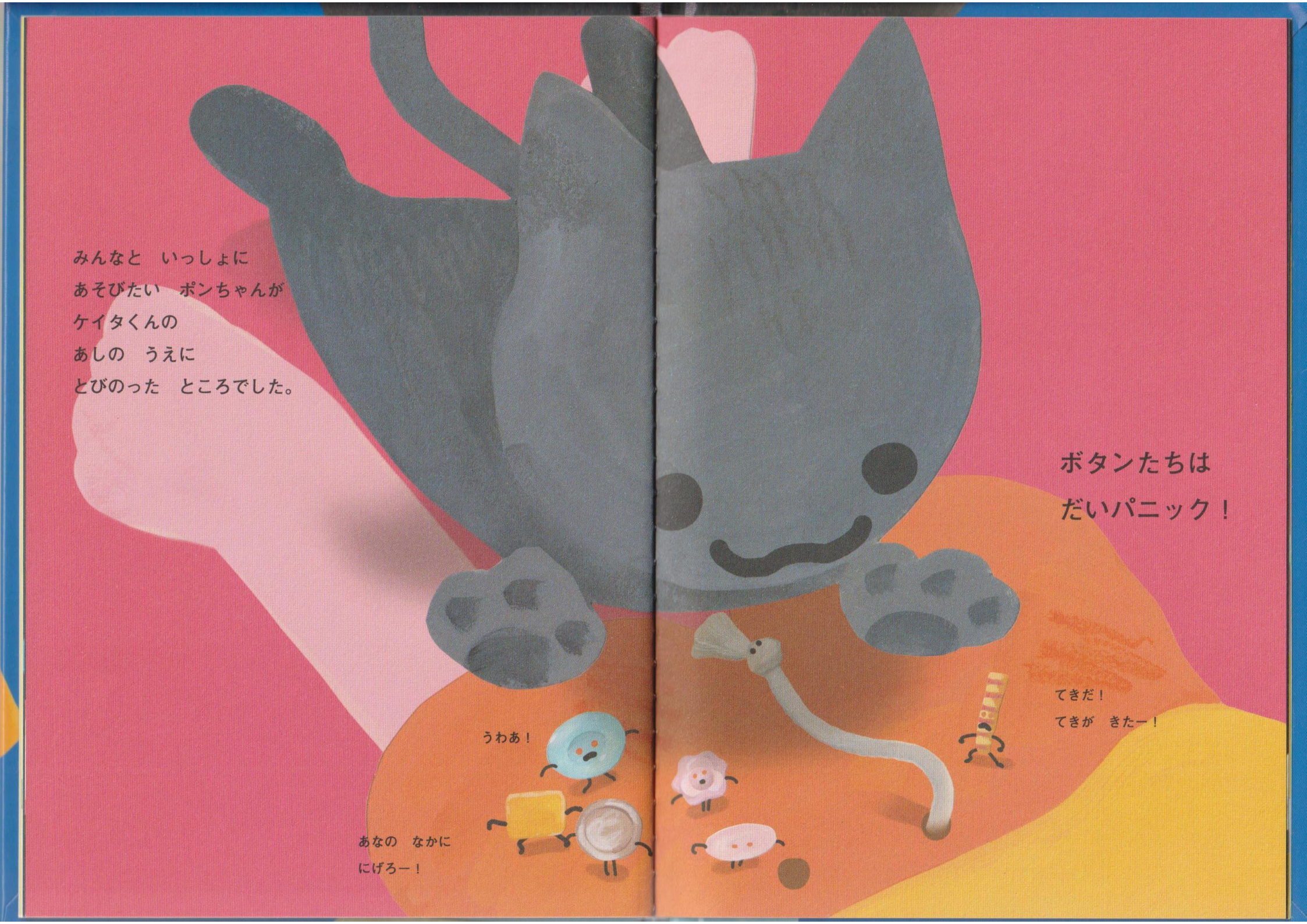
みんなと いっしょに  
あそびたい ポンちゃんが  
ケイタくんの  
あしの うえに  
とびのった ところでした。


ボタンたちは  
だいパニック！

うわあ！

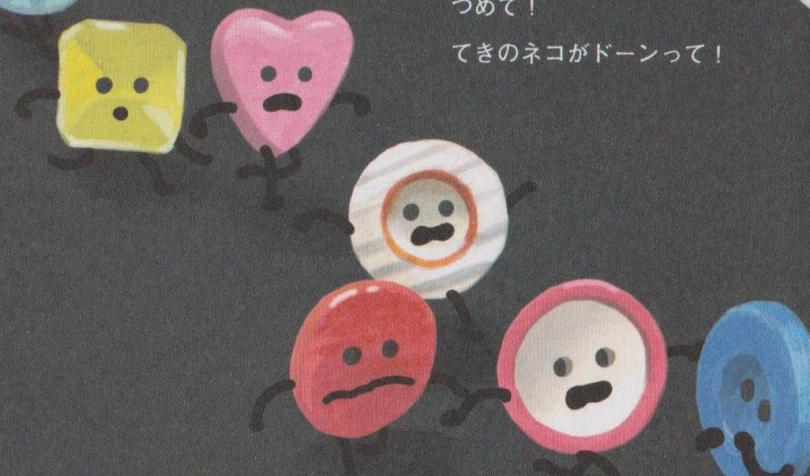
あなの なかに  
にげろー！

てきだ！  
てきが きたー！






まえにつめて！  
てきです！ネコです！



つめて！  
てきのネコがドーンって！



つめて  
テコノねがドーンだって！

つめたい  
テコノネガガドン！



「やっぱり そとは  
たいへんな ことになってるの！？  
はやく みぎくんを  
たすけにいかなきゃ！  
そこ どいてよ！」

でも パニックになった  
ボタンたちは とまりません。



ぎゃあ

むぎゅぎゅぎゅぎゅ

ぎゃあ

# ぽん!

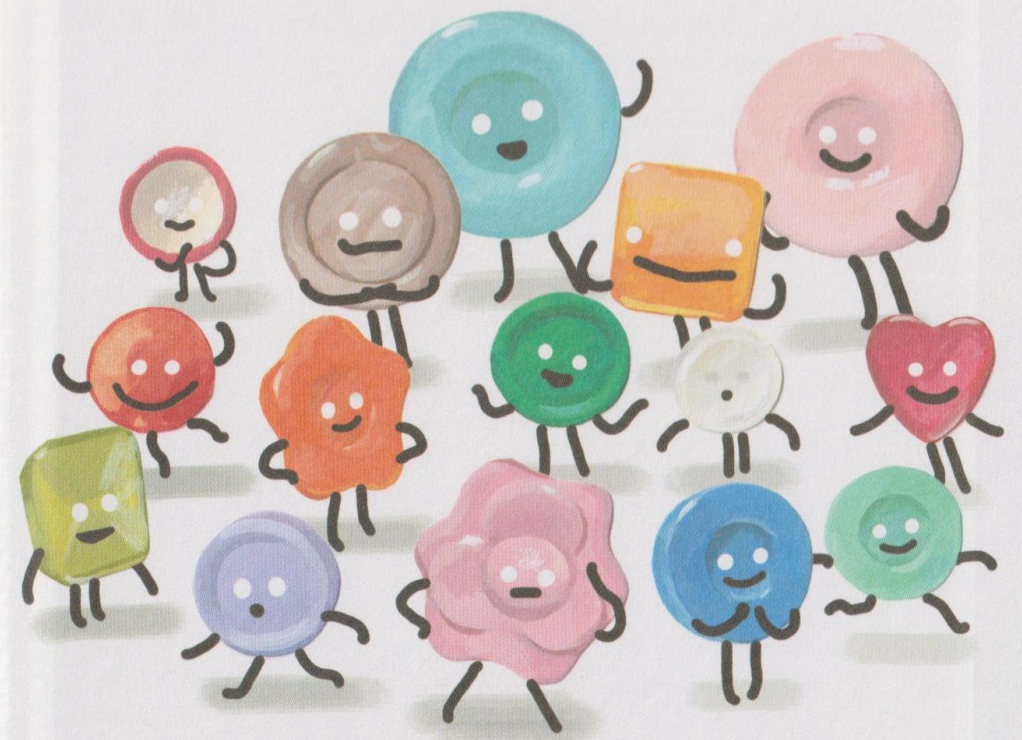
ひだりのヒモと ボタンたちは  
はんたいがわの みぎの あなから  
とびだしてしまいました。





おもわぬ てんかいに びっくり！  
でも ヒモたちは  
「みぎくん ピンチだって きいたよ？ だいじょうぶ？」  
「ひだりくんこそ！ けがは ない？」  
ふたりとも  
ケンカしていた ことは わすれてしまったようですね。

そのころ  
ボタンたちは おたがいの かつやくを  
たたえあっていました。



ヒモたちも なかなかおりにできたし、まあ  
めでたしめでたしって ことで いいのかな？

ふとズボンの紐の片方が奥に引っ込んでしまっていることに気づき、うんざりすることがありました。「わたしが見ていない間に一体なにがあったんだろう。洋服のボタンたちはもしかしたら全部見ていたかもしれないな。」そんなことを考えながら作ったお話です。

## 若井麻奈美

### 若井麻奈美

1989年うまれ。神奈川県在住。多摩美術大学絵画学科油絵専攻。東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻修了。

「#あちこちのすずさん～教えてください あなたの戦争～」(NHK)、googleステッカー、東京ガスCMソング「エネルギーのうた」などのアニメーションを制作。朝日小学生新聞 大型絵本のコーナーで「給食室のおばけ」連載。「ピーマンのにくづめだったものはなし」(アリス館)ではじめての絵本を出版した。

<https://www.wakaimanami.com/>



## ズボンのヒモがケンカしたひのはなし

2021年7月発行

監修：日本マクドナルド株式会社

©2021 Manami Wakai ©2021 Shogakukan ©2021 McDONALD'S

Printed in China THH B38

本書の無断複写・複製・転写は禁じます。  
造本には十分注意しておりますが、印刷・製本など製造上の不備がございましたら、  
お近くのマクドナルドにご連絡ください。





え  
えほんのなかの絵をみてパズルであそんでみよう!

©2021 Manami Wakai

©2021 Shogakukan

©2021 McDONALD'S

Printed in China

THH  
B38

